

令和7年度予算に見る主要事業

防犯カメラの設置を支援し 安心安全なまちづくりを推進 (防犯カメラ設置補助事業)

犯罪発生を抑制し、市民の不安を軽減するとともに、安心安全なまちづくりを推進するため、個人住宅の屋外に設置する防犯カメラ等の購入費及び設置費を補助する。

- (1) 対象機器等
防犯カメラ、録画機、表示板
- (2) 補助率 2分の1
- (3) 補助額 上限1万円



積極的な公共空間の活用による 刈谷駅周辺のにぎわいづくり (都市拠点活用推進事業)

刈谷駅周辺の公共空間を積極的に活用することにより活気や魅力を高め、市の玄関口としてふさわしい、にぎわいのある駅前空間の創出を目指す。

- (1) 地域交流拠点施設(カリココプラス)の内装整備
- (2) 刈谷駅周辺のイルミネーション実施期間 令和7年10月25日(土)～令和8年1月31日(土)
- (3) 官民連携による刈谷駅周辺エアプラットフォームの構築



創業者にチャレンジする機会等を提供し 新たな魅力ある店舗の創出を図る (チャレンジショップ事業)

商業の活性化を図るため、市内にて創業または店舗出店を検討する人が開店の前段階として事業に挑戦できるチャレンジショップを産業振興センター内に整備する。

- (1) 施設の改装及び出店者の募集
- (2) 令和7年秋オープン予定



イメージ

保護者が安心して子供を任せられる 子育て支援の環境を整備 (放課後児童クラブ運営事業)

保護者の利便性を向上させるとともに、放課後児童クラブ支援員の事務負担を軽減することで、子育て支援の質と安全性を向上させるため、タブレットやスマートフォンを活用して、児童の入退室の管理、児童クラブからのお知らせや当日の欠席連絡等を行うためのシステムを導入する。



◆◆◆ 市制施行75周年記念事業 ◆◆◆

西三河最大級の屋外音楽フェス 「KARIYA 大演会」を開催 (音楽フェス開催事業)

市民と市制施行75周年の節目を祝うとともに、シティプロモーションの推進及びにぎわいの創出を図るため、ライブや飲食販売等を行う音楽フェスを開催する。

- (1) 開催日
令和7年11月1日(土)
- (2) 開催場所
亀城グラウンド等



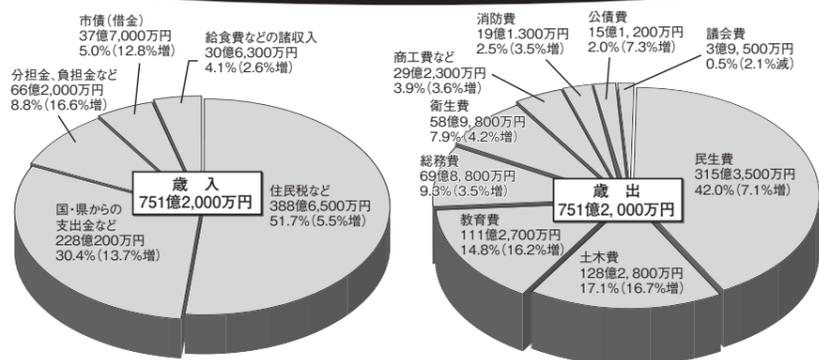
スポーツを通じて子供たちの夢や希望を育む (刈谷サッカーフェスティバル開催事業)

サッカーのまち刈谷をPRするとともに、子供たちの夢や希望を育み、サッカーの技術力向上と一層の振興を図るため、元日本代表選手や現役Jリーガーによるサッカー教室や交流試合を開催する。

- (1) 開催日
令和8年2月1日(日)
- (2) 開催場所
ウェーブスタジアム刈谷等



一般会計の内訳 ()内は対前年度比



7年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	1,111億3,800万円	64億7,700万円	6.2%
一般会計	751億2,000万円	62億2,000万円	9.0%
特別会計	253億200万円	2億4,800万円	1.0%
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	6億2,100万円	▲3,600万円	▲5.4%
刈谷野田北部土地区画整理事業	6,700万円	▲7,400万円	▲52.6%
国民健康保険	116億5,700万円	▲4,800万円	▲0.4%
後期高齢者医療	26億300万円	3億6,900万円	16.5%
介護保険	103億5,400万円	3,700万円	0.4%
企業会計	107億1,600万円	900万円	0.1%
水道事業	45億700万円	▲2,200万円	▲0.5%
下水道事業	62億900万円	3,100万円	0.5%

※詳しくは、市ホームページの「予算のあらまし」を御覧ください

(国・県からの支出金などの内訳) 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金

(分担金、負担金などの内訳) 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

(商工費などの内訳) 労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

(注) それぞれの数字は四捨五入をしてそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

令和7年度予算関係

本会議での質疑

質問質疑では、市政の方針などを問いました。本会議での質問質疑については、6〜8ページの「質問質疑」を御覧ください。

委員会・分科会・本会議

質問質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査しました。

3月21日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療・介護保険の各特別会計の計4議案に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数によりいずれも原案のとおり可決しました。

24日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論を行いました。討論では、物価高騰に対する取組の視点が欠けていることや民意を得られていない刈谷城建設に関する予算が含まれていることなどにより反対との意見がありました。採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

「分科会での主な質疑」
■企画総務
防犯カメラ設置補助事業
問 事業費300万円の内訳はどのようか。
答 事業費の内訳は、集合住宅の駐車場等へ設置する防犯カメラに係る既存の補助金として100万円、個人住宅の屋外に設

置する家庭用防犯カメラの設置費等に対する新たな補助金として200万円である。
問 防犯カメラの設置に当たっては、市から業者の紹介あるいはカタログの提供をするのか。
答 市から特定の業者や商品の紹介は行わないが、家庭用防犯カメラは、屋外に継続的に設置される、夜間撮影が可能な、防滴仕様または防雨仕様のカメラを補助の対象としており、補助の条件や内容については、ホームページやチラシ、窓口等で丁寧に案内していく。
問 スマートシティ推進事業
問 社会実装に向けたソフトウェアの導入に取組む理由と目的はどのようか。
答 令和5年3月に策定した刈谷市スマートシティ構想に掲げている推進ロードマップでは、令和7年度は推進体制を構築して、実証実験を推進していくフェーズ1の最終年度となっており、次のフェーズ2を、実装に向けた成功事例を増やし、段階的に実装を進める期間として位置づけている。7年度からは、ロードマップに従って、これまで行ってきた実証実験のフォローアップに注力し、社会実装に向けた土台をつくっていききたい。
問 どのような実証をフォローアップしていくのか。
答 刈谷放課後子育てでMaasプロジェクトや、愛知県のモデル事業として実施したメタカプロジェクト、課題解決型実証プロジェクトとして実施した、AIを活用した漏水リスクのあ

る水道管の早期発見など、これまで実施した実証実験の検証を行い、社会実装が可能なものはないかを検討していきたい。
■福祉産業
チャレンジショップ事業
問 出店者をどのように決定するのか。
答 出店者を募集する際に、営業時間の確保や事業計画書の提出など応募要件を設定し、提出された応募書類を基に面接等による審査を行い、出店者を決定していく予定である。
問 開業に向けたサポートをどのようにしていくのか。
答 出店期間の終了後には、実際の店舗を継続して経営できるように、商工会議所や信用保証協会などの専門機関や、商店街などで店舗を営んでいる事業者の協力を頂き、資金調達や顧客獲得など個々の課題に対して、気軽に相談できるように、支援体制の充実を図っていききたいと考えている。

ちよこことざざえあい事業
問 サポーター数が利用者数の約3倍近いが、依頼が来ないといったクレーム等が発生する可能性はないか。
答 利用者から依頼があった際に、手伝えないことがないよう、できるだけ多くのサポーターの獲得に努めている。利用者とサポーターとの日程調整をする中で、1件につき何人かのサポーターに連絡をとることや、複数人のサポーターで対応することもあり、多くの方にサポーターになっていただくことが、適切な事業運営につながるかと考えている。サポーターからは、現在のところ、依頼が来なくて不満だという意見はない。

問 段階的に全地区に広げていく予定はあるのか。
答 現在、市内6地区で実施しているが、今後は自治会等と調整を進め、現時点での予定となるが、令和7年6月に新たに6地区を、12月に残りの11地区を対象地域に加え、全地区で事業を行っていく。
■建設
雨水貯留浸透施設設置補助事業
問 補助制度の内容はどのようか。
答 当該補助制度は、平成12年の東海豪雨を契機に平成14年に策定した雨水総合対策整備計画において、行政、住民、企業が連携して取り組む雨水対策の一つとして平成16年4月から開始している。制度の内容は、雨水タンクなどの貯留施設や透水性舗装、浸透ますなどの浸透施設を設置に対する経費の一部を補助するものである。施設ごとに定められた額または対象経費の3分の2の額のいずれか低い額を補助金として支払うもので、一団の土地につき20万円を上限額としている。
問 制度を普及させるために、今後どのように取り組むのか。
答 これまで補助制度のPRは、市民だよりへの掲載やわんさか祭り、地区のイベントなどで展示、啓発を行っているが、今年度は、より多くの市民に興味、関心を持ってもらえるよう雨水タンクの販売実績のある市内のホームセンターにパンフレットを置かせてもらい、補助制度の普及に努めている。今後、も浸水対策に向け、あらゆる機会を通じて補助制度の周知、啓発に取り組むとともに、さらなる利用促進を図るため、適宜制

度の見直しを図っていききたい。
問 開設までのスケジュールはどのようか。
答 令和7年4月に乳児園を設置、運営する事業者の募集を開始し、プロポーザル方式により夏頃までに選定する。その後、事業者が建物等の譲渡や借地契約などの手続、給食室の設置や給排水設備等の改修工事を行い、8年4月に開設する予定である。
美術館リニューアル検討事業
問 検討が必要なる理由と施設の現状はどのようか。
答 開館から42年が経過した美術館は、文化芸術の振興に努めてきた。近年の美術館は、美術品の収集・保存、展示、展示等の拠点のみならず、地域の生涯学習活動やボランティア活動、観光等の拠点など、幅広い役割が求められるようになってきており、本市でも、新たなにぎわいを創出するため、より多くの人々に親しまれる美術館としての環境整備が必要であると認識している。ことから、これからの美術館に求められる環境は何か、美術館機能の向上を図るにはどのようなりニューアルが適切であるかなど検討が必要である。施設の現状は、経年劣化による機械設備等の故障や不具合が発生している状況である。これまで故障や不具合等による人的被害や物的な損害などはないが、先を見据えた検討が必要である。

問 リニューアルの時期、目標はどのようか。
答 令和7年度にリニューアルの必要性、方向性などを検討し、基本計画を策定していく。8年度以降の予定はその内容を受けて決定していく。

度に見直しを図っていききたい。
問 開設までのスケジュールはどのようか。
答 令和7年4月に乳児園を設置、運営する事業者の募集を開始し、プロポーザル方式により夏頃までに選定する。その後、事業者が建物等の譲渡や借地契約などの手続、給食室の設置や給排水設備等の改修工事を行い、8年4月に開設する予定である。
美術館リニューアル検討事業
問 検討が必要なる理由と施設の現状はどのようか。
答 開館から42年が経過した美術館は、文化芸術の振興に努めてきた。近年の美術館は、美術品の収集・保存、展示、展示等の拠点のみならず、地域の生涯学習活動やボランティア活動、観光等の拠点など、幅広い役割が求められるようになってきており、本市でも、新たなにぎわいを創出するため、より多くの人々に親しまれる美術館としての環境整備が必要であると認識している。ことから、これからの美術館に求められる環境は何か、美術館機能の向上を図るにはどのようなりニューアルが適切であるかなど検討が必要である。施設の現状は、経年劣化による機械設備等の故障や不具合が発生している状況である。これまで故障や不具合等による人的被害や物的な損害などはないが、先を見据えた検討が必要である。

問 リニューアルの時期、目標はどのようか。
答 令和7年度にリニューアルの必要性、方向性などを検討し、基本計画を策定していく。8年度以降の予定はその内容を受けて決定していく。